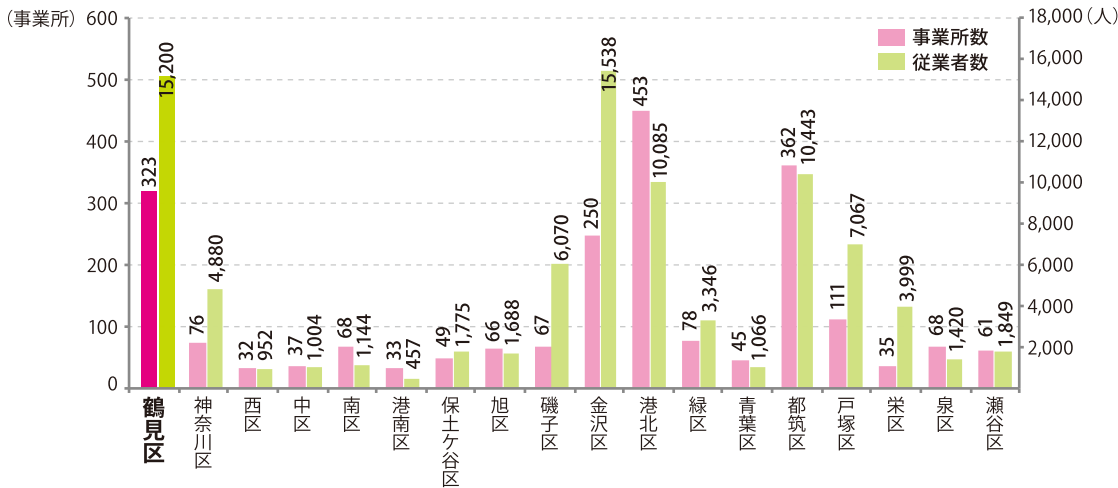


3 工業

鶴見区は、京浜工業地帯の中核として日本の重工業を支えてきました。事業所数については、昭和48年の1,096事業所をピークに、令和2年には323事業所とピーク時の約3割に減少し、また従業員数についても、60,000人を上回っていた昭和30年代後半と比べて、約4分の1となりましたが、現在でも、横浜市内の工業における重要な位置を占めています。

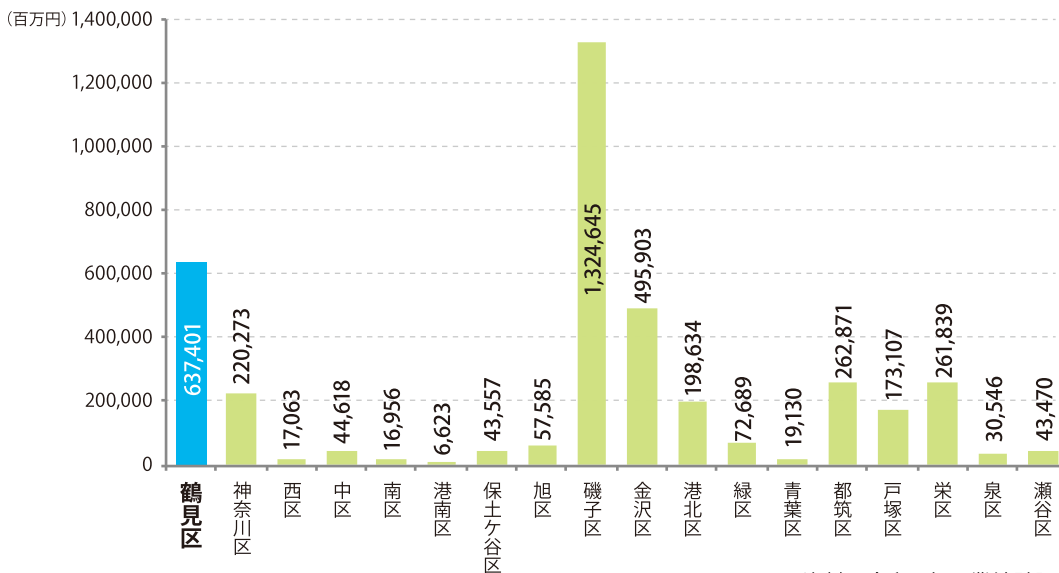
● 区別事業所数・従業員数



鶴見区は事業所数は18区中3位、従業員数は2位だよ！



● 区別製造品出荷額等



鶴見区は製造品出荷額等は、約6,374億円で、磯子区に続いて2位だよ！



資料：令和2年工業統計調査（従業員4人以上の事業所対象）

COLUMN 区の用途別水道使用量

資料：水道局及び横浜市統計書

令和2年度の鶴見区の水道使用量は、約3,019万m³でした。そのうち、公衆浴場用が約9.4万m³で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量（約64万m³）の約15%を占めています。

なお、鶴見区の令和2年末の公衆浴場数は25で、18区中、4番目の多さとなっています。